

令和6年度 中央区立日本橋幼稚園 自己評価報告書

幼稚園名：中央区立日本橋幼稚園

所在地：中央区日本橋人形町 1-1-17

園長名：児玉 大祐

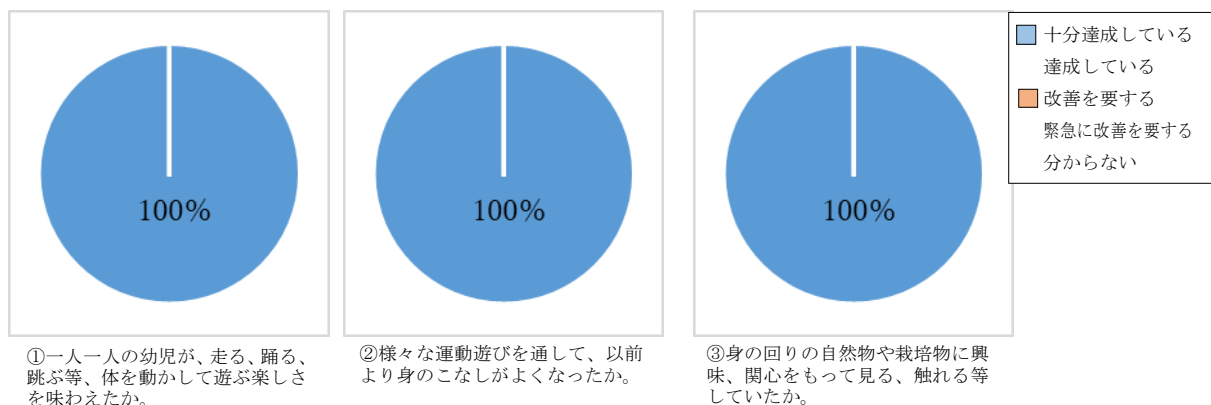
幼児数：58名 学級数：3学級 教員数：3名

1. 重点目標の達成状況及び取組状況

重点目標に対する評価は以下の結果であった。

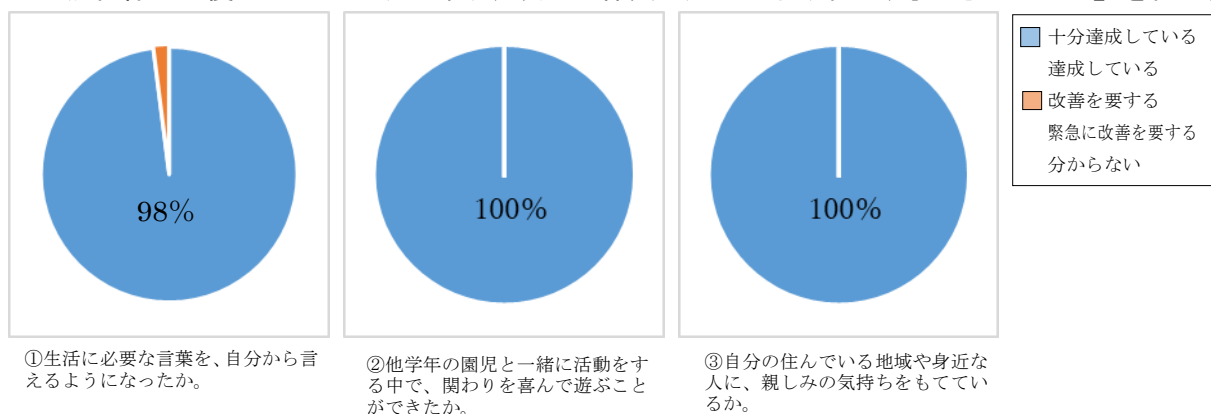
回 答： 保護者 58人中 53人回答（約91%） 実施時期：12月

○重点目標Ⅰ 心身ともに健康で、自分らしさを素直に表現できる『げんきな こ』を育む。



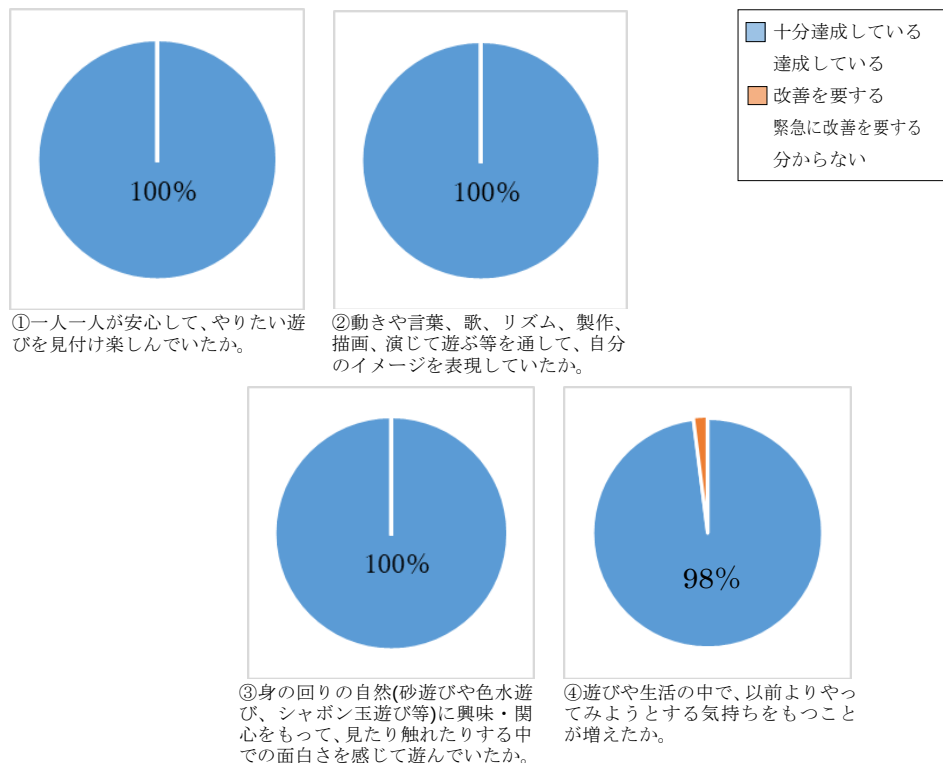
評価指標①②③の全ての項目において、100%の肯定的な回答を得た。中でも評価指標③は、他の項目に比べて「十分達成している」の割合が高かった。昨年度の教員の自己評価で自然環境への関わらせ方を学びたいという声があがっており、意識して取り組んでいる成果が出たと予想される。ただ園内環境を活かしきれていない現状もあり、本園の指導計画に取り入れていく必要がある。

○重点目標Ⅱ 優しく思いやりがあり、友達と仲良く遊びに取り組む、『やさしい こ』を育む。



評価指標①では、1名の保護者が『改善を要する』と答えている。幼稚園での取組や様子を伝え、家庭での様子を聞き取りながら連携していく必要がある。評価指標②③は、本園が特に力を入れている「異年齢交流」と「地域との交流」に関する項目である。評価指標②の「異年齢交流」が特に高い評価を得ており、今年度より預かり保育が始まって異年齢の友達との関わりが増えたことが一因として考えられる。

○重点目標Ⅲ 自分で考えて行動し、最後までやりぬく努力をする『かんがえる こ』を育む。



評価指標①②③で、100%の肯定的な回答を得た。中でも評価指標②は、他の項目に比べて「十分達成している」の割合が高かった。公開保育での実際の幼児の姿や、園内研究会の取組の発信から、保護者の理解を得られたと考える。評価指標④では『改善を要する』と答えた保護者が1名いた。

2. 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

全体の評価においても、全ての項目で96%以上の肯定的な評価を得た。一方で、今年度から預かり保育が始まり、定期的に利用している保護者2名が情報発信の項目で『あまりあてはまらない』と答えている。降園時の担任からの連絡が聞けないため、幼稚園の様子が知りたいという自由記述もあった。現在、学級からのルクミー配信は週に一、二度行っており、その頻度を上げることは難しさがある。全学年に向けた配信を週に一、二度行うことで保護者の理解を得たいと考える。

3. 今後の改善方策

○重点目標Ⅰに対して

・食育教室や弁当給食（家庭の弁当）、栽培活動を通して、食べ物への興味や関心を高める活動に力を入れ、自然との関わりは重点目標Ⅲ内に統一し取組を進める。

○重点目標Ⅱに対して

・「異年齢交流」と「地域との交流」は引き続き本園の特色として力を入れると共に、保護者と幼児の育ちや課題を共有し「家庭との連携」を強める。

○重点目標Ⅲに対して

・重点目標の文言を見直し、幼稚園が目指す幼児像の具体的な姿を保護者に示すようにする。

